



衣川 重介

『マスノスケ』

2003年5月、北海道斜里郡斜里町ウトロを訪問しました。北海道の東端にありオホーツク海に面した知床半島の付け根にウトロがあります。この地域は2005年にユネスコ世界自然遺産登録に登録されました。この海域では鮭をとる大規模な定置網漁が盛んです。定置網には錘（おもり）用としてチェーンが使われています。ユーザー様から『最近、ステンレス鋼チェーンが近隣で使われ始めたが、そのチェーンが短期間に（約1年：使用期間4ヶ月）傷んでしまうケースがある。サビないチェーンを採用したいのだが、短期間に傷む理由は何か？どうすれば長く使えるか？教えて欲しい、何か良い知恵はないか？』こんな問い合わせがあり、断ったのですが、どうしても来て欲しいとの再度のご依頼で行くことになりました。

中標準（なかしべつ）空港に迎えにきて頂いた販売店の彼に『お客様のところへ行く前に、漁港を見ることをお願いしました。』実は数年前にウトロ港のステンレス係船環を納入していました。その係船環がどんな状態になっているか確認したかったのです。定置網は想像以上の大きさです。海岸近くの広場（網置場）には背の高いユニックが立っています。昨年末に、この広場に積み上げブルーシートで覆って冬を越し、春になって整備を行っているのです。9月になれば、海に広げるのです。ステンレス鋼の特性やチェーンの製造方法、サビの発生し易い状況等を説明させて頂いたあと、すでに昨年からステンレス鋼チェーンを採用している近くの定置網を見せて頂きました。やはり、かなり傷んだ部分がありました。海水中で使用するステンレス鋼（SUS 304や SUS 316）はごく短期間で腐食が大きく進みます。（写真参照）

『ステンレス鋼のことがよくわかりました。遠路お越し頂いたお礼にと』大きな紙包みを頂きました。秋には一工夫した耐海水用のチェーンをお納めすることを約して帰路につきました。

『5月の知床半島は最高の時季です。ぜひ観光して帰ってください。』販売店の彼の薦めで観光船『オーロラ』でウトロ港を出港し、知床半島の突端まで遊覧。秋には、この海域に大きな定置網が敷設され、鮭を捕獲します。お客さまの網も同様です。下船後、羅臼岳を見上げる知床峠に案内して頂き、北方領土の島も遠望してきました。

船頭様から頂いたお土産の中には『イクラ』『ホタテ』と『マスノスケ』と書かれた紙包みが入っていました。知らないことば『マスノスケ』を早速調べました。日本ではほとんど捕れないキングサーモンのことでした。帰宅するとすぐに、刺身で美味しく頂きました。



「鉄のふしぎ博物館」3周年 鉄を見る目が変わりますよ。
来て！見て！ふれて！ ふしぎ体感 ぜひお越しください。

ホームページと電子メールをご利用ください。

URL <http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/>
<http://www.kanamonoya.co.jp/catena/ryou@memenet.or.jp>